

秋風のたつ9月

朝夕の涼風が緑の青田を吹きわたり、だいぶ凌ぎやすくなりました。真夏のたぎるような熱暑がうそのようです。川岸ガーデンの萩はピンクの花をつけ真っ盛り、さながら花の噴水のように。

台風18号も佐賀をよけて通り過ぎてくれましたものの被災された所も多く汚濁した水に道も川も飲み込まれていたようで、心からお見舞い申し上げます。

さて、涼風と共に資源物(アルミ缶、新聞紙、段ボール)を持ち込んでいただいたり、月1回の回収日に用意していただいたり、不断の行とも思える皆様のお心。伊達直子さん。毎年「シニア世代の匠の技展」に合わせて作品と共にあったかいお心を届けていただく方。日頃ボランティア(資源物回収)活動にお出でいただく上にお手伝いがしたりないと言ってくさる方。ついこの頃亡くなられたお母さんの供養にとこへ差し向けて下さった香典返し(?)など胸にキュンのこの頃でした。本当に有りがとうございました。大切に使用させていただきます。



新しい車がきました



送迎用の車がどうしても足りなかった為、皆様の善意を有効活用させていただき、軽乗用車を求めました。この仲間たちの描いたチューリップの花をあしらったかわいい“ちゅうりっぷ3号”です。2号と共にこの町、あの町を走り抜けています。

健康ポイント達成授賞式

グループホームでは、ただ寝て食うだけではありません。そこで、ホームの夜間管理人さん、まかないのおばさんたちが入所さんたちのために一計を案じたのが、町での健康ポイント運動の活用でした。朝のバイタルチェック(体温・血圧)、夕食後の散歩やペダルこぎを取り入れて下さり、なんと3000点~2000点獲得できました。頑張った仲間たちは夫々のご褒美をいただき、これからの後期の取り組みにも張り切っています。



親の思い

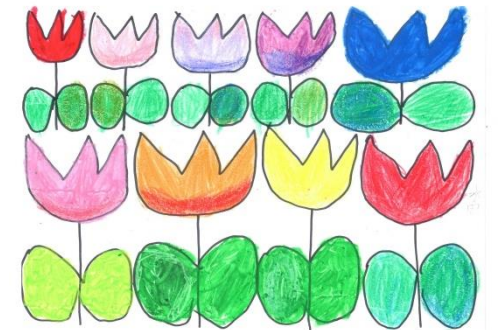
日頃、おうちとここ“ちゅうりっぷのうた”を結ぶ連絡帳を通して利用者さんのことを知らせ合っています。いつもいつもおうちの方々、特にお母さんのお気持ちを知るにつけ、ここの在り様が反省させられます。教えていただくことも多いです。

今日で19歳になる我が子。今までは学校ではいろいろ自立に向けて取り組んでいただき、家庭ではついつい甘やかすことも多かったと思います。不自由に生まれてせめていろんな事を楽しめたらと本人が喜ぶことを積極的にしていました。20歳を目前に社会人として少しずつ成長してほしいと思います。私自身いつまでも小さな子ども扱いせず自分でできる事は時間がかかっても口出し、手出しせず見守っていきたくと思います。(母)

いつも笑顔をもっとに頑張るAさんです。

カレンダーがもうすぐできます

新しい年に向けて利用者さんが取り組んだ絵をもとにカレンダーが出来つつあります。時間を見つけては描き上げました。絵を描く仲間が少しずつ増え15名となり、12ヶ月をこえました。作品展を巻末に用意して全員分を載せています。



ギャラリー案内 ・ 入場無料、期間中休まず

10/5(木)~ 10/14(土)	新しい年のカレンダー原画展
10/18(水)~ 10/28(土)	びっきいの町の写真好きさんたちの作品展
11月の予定	お楽しみ

障がい福祉作業所・ギャラリー ちゅうりっぷのうた
代表 本村容子

☎849-0501 佐賀県杵島郡江北町大字山口1399番地7(肥前山口駅南)
【TEL・FAX】0952-86-4520 【ホームページ】 <http://tulip8.com>

